



## 認知症と車の運転（その2）

院長 長野浩志

前回、認知症の人の車の運転について、その特徴や危険性などについて書きました。今回は認知症の人の車の運転について、本人や家族の方にぜひ知っていただきたいことを幾つか述べたいと思います。

### ● 認知症の人が事故を起こした時は、保険金が出ないことがある。

多くのドライバーは人身事故を起こした時に必要となる多額の賠償金に備えて、自賠責保険に加えて任意保険にも加入しています。ところが、認知症のドライバーが人身事故を起こした場合、保険会社から保険金の支払いを拒否されることがあります。これは、認知症のドライバーは飲酒運転のドライバーと同様で、「安全運転ができない状態で運転した」と見なされ、保険の免責事項の心身喪失状態にあたりと判断されるからです。死亡事故を起こした場合の賠償金は多額で、保険金の支払いがない場合は、本人が全額自己負担で支払わなくてはなりません。また、もしも事故を起こした認知症のドライバーに支払い能力がない場合は、その家族に支払い義務が生じてきます。このような悲惨な事態を避けるためにも、やはり認知症の方は車の運転は止めるべきだと思います。



### ● 自動車の代わりに電動シニアカーや自転車の運転は大丈夫か？

自動車に比べれば、歩行者を巻き込む事故のリスクはかなり低くなりますが、運転中の転落や転倒の危険性は高く、認知症の方には安全の乗り物ではないと思います。

### ● 認知症の方は免許の更新ができない場合がある。

免許更新時に免許停止もしくは取り消しになるのは、以下のような方です。まず、75歳以上の方は免許更新時に全員、「認知機能検査」が義務付けられています。その検査結果が49点以下だった場合は、「記憶力・判断力が低くなっている。」と判断されます。このような方で、最近の交通違反歴に「信号無視や一時停止違反」などがあった場合、認知症専門医の診察を受けることになります。その結果、認知症と診断された場合、免許は取り消されることになります。

### ● 認知症と診断されている方は運転免許が取り消しになるか？

道路交通法では、運転者が認知症であると判明した場合、公安委員会により、「運転免許の取り消し」または「免許の効力の停止」をすることができると定めています。認知症の方は、安全運転をつづけることが徐々に困難になるので、できるだけ速やかに運転は中止するのが良いと思います。



## 上野公園病院に入職し感じたこと

東2病棟看護師 小野耕兵

東2病棟看護師の小野耕兵です。看護師免許取得後まだ4年程度です。以前は一般病院に勤めていましたが平成26年4月より当院へ入職しました。今までに数多くの認知症の方を見てきましたが、自分自身認知症の方への対応に悩まされたこともしばしばありました。その中で、年々増加している認知症看護に興味を持ち、こちらに就職したいと思い、現在に至っています。

認知症患者さんとのかかわりの中で、患者さんを見ること、患者さんの声に耳を傾けること、患者さんに寄り添い触れることの大切さを改めて感じさせられ、初心に帰ることが出来ました。今ではやりがいを持ち、日々業務に励んでいます。

また、今後は患者さんのみではなく、そのご家族も含めた看護を提供していけるような看護師を目指していきたいです。よろしくお願いいたします。



医療法人百花会 上野公園病院

通所リハビリ ふきのとう  
居宅介護支援センターうえの

ホームページアドレス

<http://www.uenokoen-hospital.jp/>

E-mail

[uenokoen-hp@giga.ocn.ne.jp](mailto:uenokoen-hp@giga.ocn.ne.jp)

## ふきのとうだよ

12月に入り風も冷たくなり、本格的な冬到来となってきました。デイケアでも送迎の時に室内から車へ移動するのに、利用者の皆さんと気合を入れて移動しています。



今月はデイケアでの初の試みであった、外部講師を招いての聴講についてお知らせしたいと思えます。今回は歯科衛生士の先生に来ていただき、歯の大切さや歯の磨き方などについて講演いただきました。歯は物をおいしく食べるだけでなく、飲み込みをしやすくしたり、力が入れやすくなったりと多くの役割を果たしています。本当に大切な役割をしていますね。自分の歯が無くなっても入れ歯をすることなどで近い役割を果たすそうです。続いて歯の磨き方については「順番を決めて磨き残しの無いように！」とのことでした。また、義歯の手入れでは、部分入れ歯の歯にあたる側をしっかりと磨くことや歯茎も磨くようにとのこと指導を頂きました。利用者の皆さんも興味を持って聞かれ、実際に歯みがきをみてもらいながら指導を受けたりもしました。今回、指導いただいた内容を皆さんと継続して実施していきたいと思えます。

## 避難訓練を実施しました。

ちょうど1年前になります。福岡県の病院で夜間に出火し、入院患者を含む10名が亡くなるという火災が発生しました。当院では、年に2回避難訓練を実施

しておりますが、11月末に行った訓練では、職員の少ない夜間帯に患者さんの入院スペースの近くで出火した場合を想定しました。スプリンクラーを設置していることに慢心せず、いざという時の心構えについて考えたり、煙による被害なども考慮しながら、真剣に取り組みました。

